【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公開番号】特開2010-266335(P2010-266335A)
【公開日】平成22年11月25日(2010.11.25)
【年通号数】公開・登録公報2010-047
【出願番号】特願2009-117930(P2009-117930)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｄ　5/36　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｄ　5/36　T

【手続補正書】
【提出日】平成24年5月24日(2012.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光を発光する発光部及び前記光を受光する受光部を有する受発光部と、
前記光を透過させて、前記発光部と前記受光部とを含む領域を保護する保護層と
を備えることを特徴とする受発光センサ。
【請求項２】
前記受光部は、複数設けられており、
前記保護層は、複数の前記受光部を保護する
ことを特徴とする請求項１に記載の受発光センサ。
【請求項３】
複数の前記受光部は、前記発光部を挟む位置に配置されている
ことを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の受発光センサ。
【請求項４】
前記受発光部は、端子部を有し、
前記保護層は、前記端子部を保護する
ことを特徴とする請求項１から請求項３のうちいずれか一項に記載の受発光センサ。
【請求項５】
前記保護層は、前記受発光部の全面を保護する
ことを特徴とする請求項１から請求項４のうちいずれか一項に記載の受発光センサ。
【請求項６】
前記受発光部を搭載する基板を更に備え、
前記基板は、前記端子部に接続される第２端子部を有し、
前記保護層は、前記第２端子部を保護する
ことを特徴とする請求項１から請求項５のうちいずれか一項に記載の受発光センサ。
【請求項７】
前記保護層は、前記発光部から発光される前記光の波長域に対する透過率が高い
ことを特徴とする請求項１から請求項６のうちいずれか一項に記載の受発光センサ。
【請求項８】
前記保護層は、前記光のうち所定の波長域を選択的に透過させる
ことを特徴とする請求項１から請求項７のうちいずれか一項に記載の受発光センサ。

【請求項９】
前記受光部は、前記光のうち反射光を受光する
ことを特徴とする請求項１から請求項８のうちいずれか一項に記載の受発光センサ。
【請求項１０】
パターン部を有する回転部と、
前記パターン部に光を照射すると共に、前記パターン部を介した前記光を受光する受発光センサと
を備え、
前記受発光センサとして、請求項１から請求項９のうちいずれか一項に記載の受発光センサを用いる
ことを特徴とするエンコーダ。
【請求項１１】
反射光学式のエンコーダであって、
パターン部を有する部材と、
前記部材と相対的に移動可能であり、前記パターン部に光を照射すると共に、前記光のうち前記パターン部で反射された反射光を受光する受発光センサと、
を備え、
前記受発光センサとして、請求項１から請求項９のうちいずれか一項に記載の受発光センサを用いる
ことを特徴とするエンコーダ。
【請求項１２】
光を発光する発光部及び前記光を受光する受光部を配置する工程と、
前記発光部と前記受光部とを含む領域を保護する保護層を形成する工程と
を含むことを特徴とする受発光センサの製造方法。